

DNC

Daikyo
Nishikawa
Corporation

Business Report

第12期 株主通信

2018年4月1日から2019年3月31日まで

－ トップインタビュー

革新と創造で、新たな舞台へ

- ごあいさつ
- 当期の事業環境と業績について
- 新本社／本社工場について
- 中期経営計画について
- 第13期(2020年3月期)の見通し
- 配当について

－ 連結財務ハイライト

－ 本社工場での新たな取り組み

－ DNCネットワーク

- グローバル事業拠点
- 北米新工場建設のお知らせ
- [シリーズ企画] 世界へ挑む

－ 事業紹介

- 自動車外装・外板部品
- 自動車内装部品
- 自動車エンジンルーム部品
- 住宅関連

－ トピックス

- 自動車技術展
「人とくるまのテクノロジー展2019 横浜」出展
- 株主優待制度の導入に関するお知らせ

会社概要／会社役員／株主メモ／株式の状況／
株式分布状況／大株主／1株当たり配当金・配当性向／
ホームページのご案内

さらなる進化を目指して

～新本社／本社工場に込める想い～



2019年末完成予定

業績に関する
Keyword

●売上は予想を上回るも営業利益率未達

●新たに始まる中期経営計画

●新本社／本社工場がもたらす効果

ダイキョーニシカワ株式会社

トップインタビュー

革新と創造で、新たな舞台へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社における第12期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の連結業績につきまして、ここにご報告申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

内田 成明

Q 第12期(2019年3月期)の事業環境と業績についてお聞かせください。

A 売上は予想を上回りましたが、営業利益率はわずかに目標未達となりました。

第12期における自動車業界の事業環境は、AIを活用した自動運転技術や電動化技術など技術革新への取り組みが加速し、さらには人件費の高騰など経営への負担が強いられました。また当社では、主要取引先の新世代車種向けの開発及び生産準備費用や、新本社／本社工場建設に関わる先行費用など、将来に向けた活発な投資計画があったため、期初より増収減益の業績予想を立てていました。さらに、2018年7月に発生した西日本豪雨では、当社への直接的な被害は僅少であったものの、公共交通機関の遮断や、取引先が休業を強いられるといったマイナス要因もあり、大変厳しい期であったと考えます。

こうした向かい風の経営環境にありながら、自然災害起因のダメージの挽回に全社を挙げて取り組み、また新世代車種のスムーズな立ち上げなどに努めた結果、期初の業績予想を上回る売上を達成しました。

また、当期は中期経営計画の最終年度であり、掲げた経営数値目標に対して、売上高及びROE数値については目標を達成できた一方、営業利益率は全社一丸となって改善に努めましたが、わずかに目標に到達することができませんでした。

当期の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は184,314百万円(前年

比7.2%増)、営業利益は前向きな設備投資等により14,621百万円(前年比19.0%減)、経常利益は14,836百万円(前年比20.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10,402百万円(前年比16.5%減)となりました。



Q 新本社／本社工場がもたらす効果についてお教えてください。

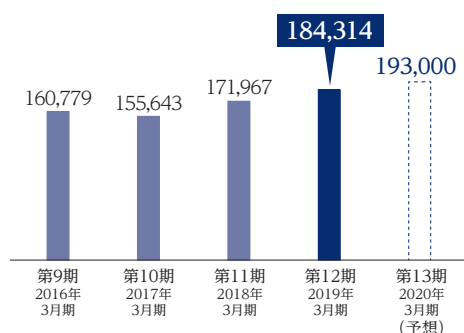
A 環境に配慮し、生産や開発のさらなる効率化や社員がより働きやすい職場を実現します。

新本社／本社工場の完成により、研究開発・生産・品質保証・管理機能が一体化され、従来にも増して効率的な経営フローを構築するとともに、より迅速な経営判断がおこなえます。

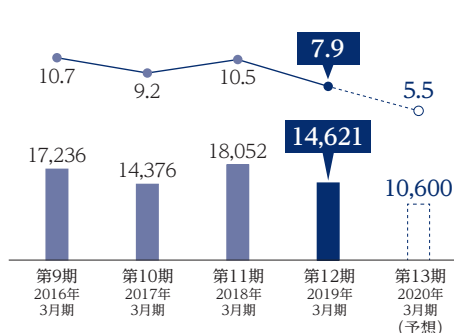
本社工場においてはムダのない理想的なもの造りラインにより、生産性の向上を図り、さらに働きやすい環境を実現することで社員のモチベーションアップにつなげ、高効率エネルギーマネジメントの導入で、周辺地域の環境保全への配慮やコスト削減を推進します。

連結財務ハイライト

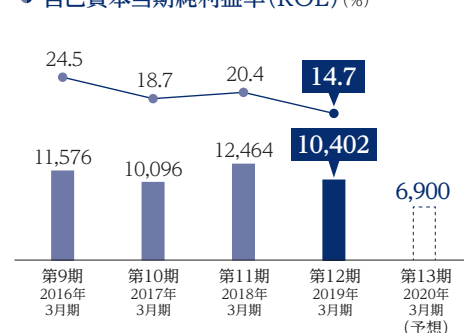
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円) ◆ 売上高営業利益率 (%)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) ◆ 自己資本当期純利益率(ROE) (%)



トップインタビュー

Q 今期よりスタートする中期経営計画についてお聞かせください。

A 新たなステージを目指し、中計期間後半では業績回復を予想しています。

第13期(2020年3月期)から第16期(2023年3月期)までの4年間を対象とした中期経営計画では、「顧客戦略」「商品戦略」「もの造り戦略」「拠点戦略」「経営基盤戦略」を5つの柱とし、市場ニーズを先取りする独創的、革新的な樹脂製品や新技術の開発などに積極的にチャレンジしてまいります。

この中期経営計画の期間前半は、新たなステージへのジャンプアップに備えて一旦身をかがめる時期であると考えています。新本社／本社工場関連費用や北米工場建設のための諸投資の継続、「働き方改革」の一環である社員の福利厚生施策費用など、収益面ではやや厳しい計画となっていますが、期間後半では北米を中心とした海外セグメントの強化により業績の回復を見込んでいます。

Q 第13期(2020年3月期)の見通しについてお教えてください。

A 前向きな先行投資で、さらなる飛躍を目指します。

第13期(2020年3月期)は新たな中期経営計画の初年度であり、計画をスムーズかつ確実にスタートさせる期と位置付けています。新製品開発の設備投資や量産体制の強化など、積極的な先行投資をおこなうため、前期比増収減益を想定しておりますが、これは将来への志を持った意図した計画です。

厳しい期となりますが、社員一同次なる成長に向けての計画を確実に実行し、将来の飛躍へとつなげてまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

うお願い申し上げます。

Q 配当についてお教えてください。

A 安定的・継続的な配当に努めてまいります。

第12期の業績は増収減益ではありましたが、長期安定的な配当を目指す当社の経営指針の下、1株当たり34円の配当を実施しました。今後も安定的・継続的な配当に努めてまいります。第13期の配当につきましては、将来のための先行投資が重なり、減益を予想していることもあり、1株当たり30円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

○目標とする経営指標

第12期(2019年3月期) 実績			第16期(2023年3月期) 目標		
連結売上高	売上高営業利益率	自己資本当期純利益率(ROE)	連結売上高	売上高営業利益率	自己資本当期純利益率(ROE)
1,843億円	7.9%	14.7%	2,100億円	8%以上	10%以上



詳細は当社のホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/jp/ir/index.html>

こちらのQRコードからもアクセス!



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

本社工場では新たな取り組みで理想工程を追求します

生産効率の向上、人にやさしく環境にもやさしい、究極の理想に近づけた最先端の工場がスタートします

●生産効率が高まります

製造工程ラインをストレートにし、ムダやロスを徹底的になくした生産の流れを実現します。

●環境にやさしい工場を目指します

太陽光発電導入や、エネルギー効率の高い設備導入などによるCO₂排出量の削減等を通じ、環境保全活動に貢献します。

【本社工場の概要】

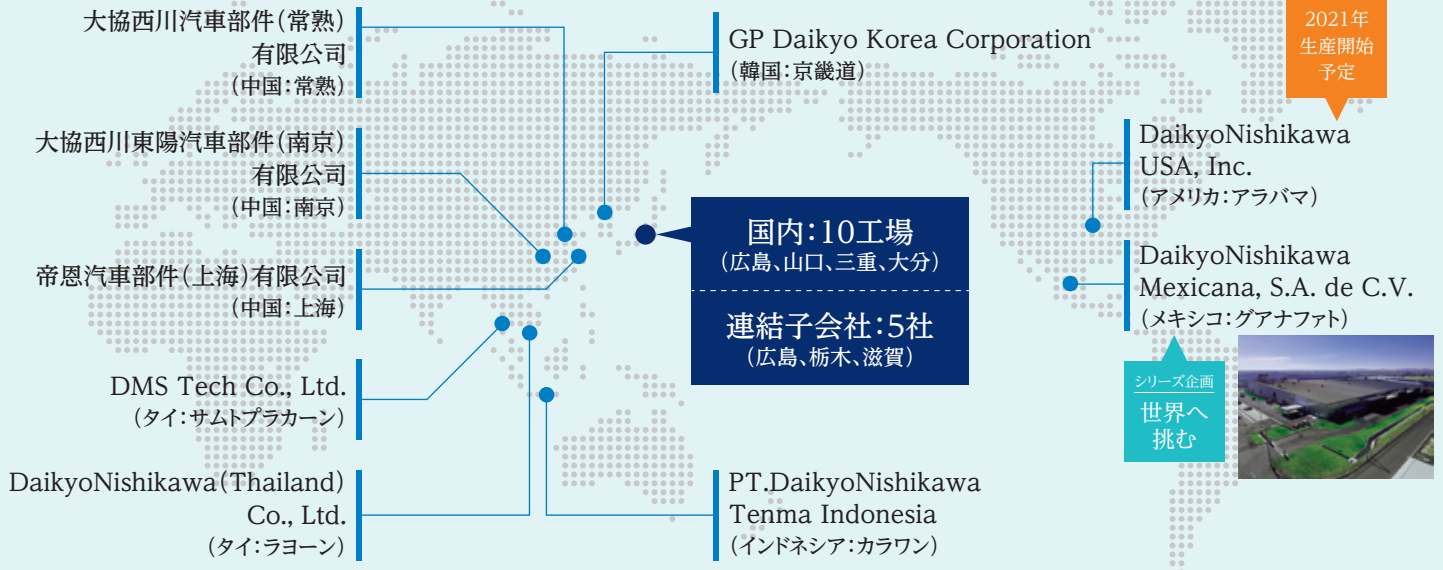
建 設 地	東広島寺家産業団地
本社工場の延べ床面積／階層	3万3,909平方メートル／地上2階建て
生 産 品 目	自動車の内・外装樹脂部品

※面積は、工事実施設計図面による概算面積です。



DNC ネットワーク

●グローバル事業拠点



※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

北米新工場建設のお知らせ

当社は、米国アラバマ州ハンツビル市に新工場を建設いたします。マツダ株式会社とトヨタ自動車株式会社の合弁新会社「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」で生産される完成車に向け、2021年よりインストルメントパネルやバンパーなどの大型の樹脂製自動車部品の生産を行い、年間売上190百万USD規模の事業とする計画です。

当社は北米拠点を設けることで主要顧客との関係を一層強固にし、事業機会の最大化を目指してまいります。

事業所名称	DaikyoNishikawa USA, Inc./Alabama Plant (DNUS)
事業内容	樹脂製自動車部品の製造・販売
主要生産品目	インストルメントパネル、バンパーなどの樹脂製自動車部品
所在地	米国アラバマ州ハンツビル市 MTMUS隣接地
着工時期	2019年7月(予定)
生産開始	2021年(予定)
投資額	約110百万USD(予定)
従業員数	約380名(予定)

●詳細は当社のホームページをご覧ください。

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/jp/news/2019/05/2019051405.html>

こちらの
QRコードからもアクセス!



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

シリーズ企画

世界へ 挑む

【メキシコ:グアナファト】 DaikyoNishikawa Mexicana, S.A. de C.V. (DNMex)

DNC流の顧客優先思考に感銘。さらなる高みを目指し、奮闘中。

DNMexは、メキシコのほぼ中央に位置するグアナファトで、インストルメントパネルやバンパーなどの樹脂製自動車部品の製造し、現地の完成車メーカーへの販売を展開しています。グアナファトは、美しいコロニアル建築の街並みとユネスコ世界遺産に登録された銀山を持ち、ラリーレースやセルバンティーノ国際芸術祭などのイベントも盛んな魅力的な州都です。



私は税務専門会計士として23年間の経験があり、主に自動車関連の企業を支えてきました。こうした専門

Business Management Division
経理ジェネラルマネージャー (2012年入社)
Oscar Labastida Batres

的な知識を活かし、DNMexでは経営の最適化を図っています。DNMexに入社して感銘を受けたのは、顧客優先の手厚いサービスと、誰にでも分け隔てなく親切に対応する企業文化です。また社員の希望に合わせて成長をバックアップするシステムも素晴らしく、社員は高いモチベーションをもって働いています。



現在はさらなる高みを目指してリーダーシップを磨き、製造に関する知識を深めています。今後は国際的な業務に携わることで経験を蓄積し、DNMexの成長により一層貢献していきたいと考えています。

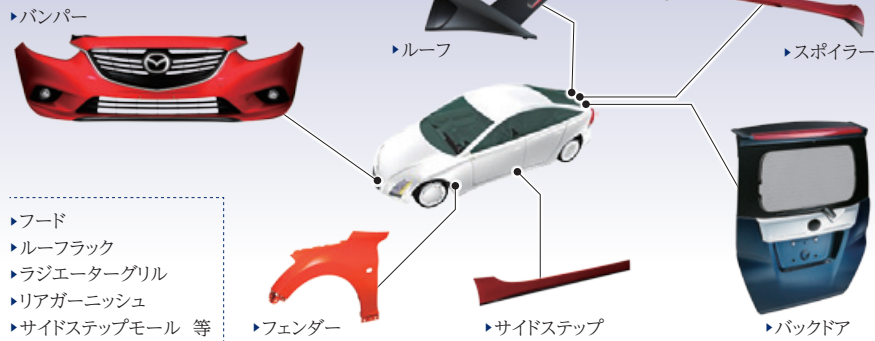
事業紹介 & トピックス

事業紹介

ダイキョーニシカワは国内の各自動車メーカー向け樹脂部品の分野で、材料ブレンド開発から、製品開発、設計、製造までを手がける総合プラスチックメーカーです。

こんなとこまでプラスチック?!

自動車外装・外板部品

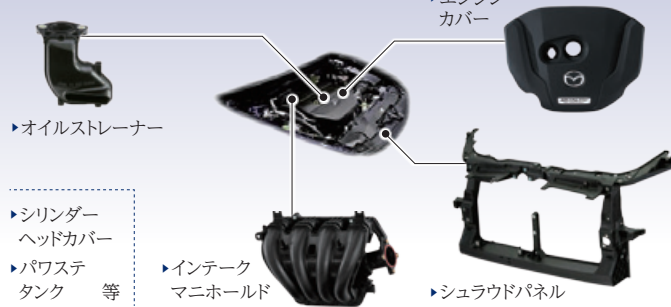


住宅関連

- [バスユニット部材]
▶バスタブ ▶ミラーパネル ▶カウンター ▶洗い場
- [洗面・キッチン部材]
▶人造大理石キッチンカウンター
▶ガラス繊維レス 人造大理石製品
- [トイレタリー部材]
▶便座



自動車エンジンルーム部品



自動車内装部品



トピックス

Topics

1

「人とくるまのテクノロジー展」出展

2019年5月22日～24日
パシフィコ横浜・展示ホール

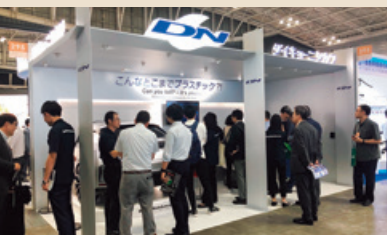
当社は、「こんなとこまでプラスチック?!」をキャッチフレーズに、今年も「人とくるまのテクノロジー展」に出展し、当社の樹脂化技術を紹介しました。

リフトゲートコンセプトモデル

機能の進化と価値を極めた
人間中心のリフトゲートの姿を提案

【主な特長】

- 新開閉構造
- パートレスデザイン
- ランプレンズ一体化、コミュニケーションパネル 等



コックピットコンセプトモデル

人とクルマを心地良くつなげる
インテリアを提案

【主な特長】

- 高触感ソフトパネル、3Dソフトマテリアル
- 最薄スリットルーバー
- 光透過表皮、直感操作スイッチ 等



Topics

2

株主優待制度の導入に関するお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、株主還元方法を多様化し、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入いたしました。

●対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。株主様が保有する保有期間に応じて、下記のとおり贈呈いたします。

保有株式数	継続保有期間 3年未満	継続保有期間 3年以上
100株以上	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円

(注)「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日及び9月30日現在の株主名簿に、同一の株主番号で7回以上連続して記載または記録された場合といたします。なお、継続保有期間の算出は、初回の基準日となる2019年3月31日より開始いたします。



会社概要

(2019年3月31日現在)

社 名	ダイキョーニシカワ株式会社
本 社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号
設 立	2007年4月1日
資 本 金	54億2,665万3,900円
従 業 員 数	5,265名(連結)

会社役員

(2019年6月21日現在)

代 表 取 締 役 社 長	内 田 成 明
代 表 取 締 役 副 社 長	野 口 悟
取 締 役 専 務 執 行 役 員	竹 岡 健 次
取 締 役 専 務 執 行 役 員	桧 山 俊 夫
取 締 役 専 務 執 行 役 員	錦 村 元 治
取 締 役 専 務 執 行 役 員	和 木 深 水
社 外 取 締 役	出 原 正 博
社 外 取 締 役	佐 々 木 茂 喜
社 外 取 締 役	向 井 武 司
常 勤 監 査 役	繁 元 則 彦
社 外 監 査 役	安 村 和 幸
社 外 監 査 役	廣 田 亨

株主メモ

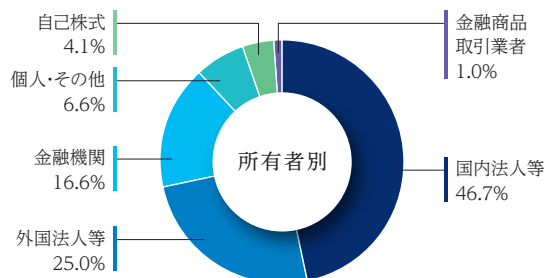
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰 余 金 の 配 当 の 基 準 日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 事 務 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00 ~ 17:00)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 方 法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	236,704,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	73,896,400株
単 元 株 式	100株
株 主 数	4,015名

株式分布状況

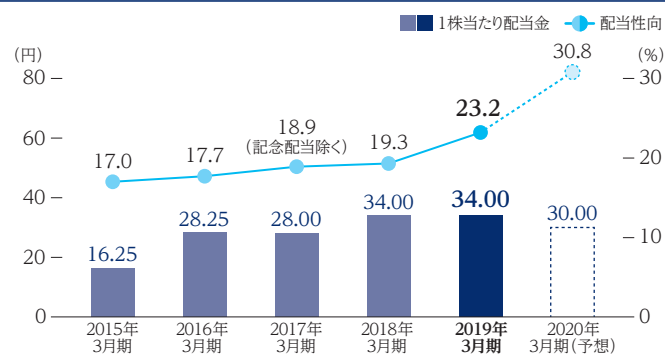


大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200	16.7
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600	5.5
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600	5.5
住友商事株式会社	3,573,680	5.0
株式会社広島銀行	3,541,800	5.0
マツダ株式会社	3,541,800	5.0
三井物産株式会社	3,222,720	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,088,500	4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,550,800	2.2
GOVERNMENT OF NORWAY	1,343,900	1.9

(注) 当社は、自己株式3,042,930株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

1株当たり配当金・配当性向



※2016年1月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。
2015年3月期の年間配当金は同様に分割が行われたと仮定して、1株当たりの配当金(65.00円⇒16.25円)を計算しております。
2016年3月期の中間配当金は分割が行われたと仮定して、1株当たりの配当金(37.00円⇒9.25円)として計算しております。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。ぜひご覧ください。

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>

こちらのQRコード
からもアクセス!



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



○動画で見るダイキョーニシカワ



「満足」の一步先を行く、「感動」を求めて



ダイキョーニシカワ株式会社
TEL: 082-885-9979

